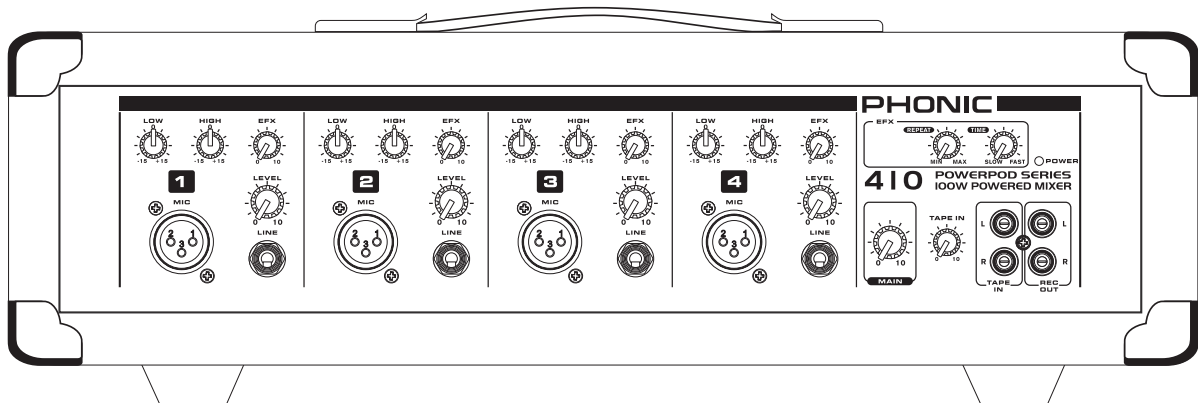


# PHONIC

## POWERPOD 410

POWERED MIXER



取扱説明書

# POWERPOD 410

## POWERED MIXER

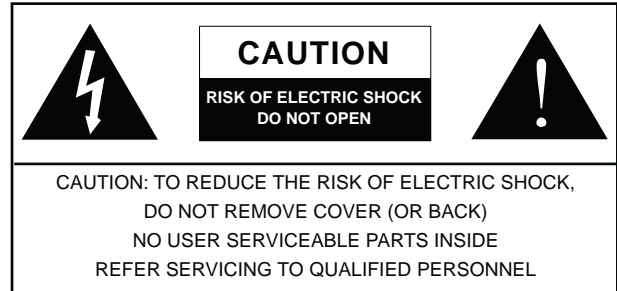
### CONTENTS

基本性能 .....	3
ご使用頂く前の準備 .....	3
コントロールと設定 .....	3
マスターセクション .....	4
リアパネル .....	4
仕様 .....	5
ケーブルタイプ .....	6
接続例 .....	7
寸法 .....	9
ダイヤグラム .....	10

# 安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。  
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。  
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。  
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

## 基本性能

- ・ 4モノラル入力チャンネル
- ・ 最大出力100Wのパワーアンプ内蔵
- ・ クラスD回路内蔵アンプ
- ・ デジタルディレイ機能
- ・ モノラルチャンネルに2バンドEQ搭載
- ・ レコード出力
- ・ レベル調整可能テープ入力装備

## ご使用頂く前の準備

1. 電源をオンにする前に、マスター出力を最小値に設定して下さい。
2. ケーブルの接続前と取り外し前には、必ず電源をオフにして下さい。
3. 通気の妨げになるため、背面パネル全体をふさがらないで下さい。

## コントロールと設定

### 1. LOWコントロール

低音域 (80Hz)を±15dBの範囲でブースト/カットすることが出来ます。

### 2. HIGHコントロール

高域域 (12kHz)を±15dBの範囲でブースト/カットすることが出来ます。

### 3. LEVELコントロール

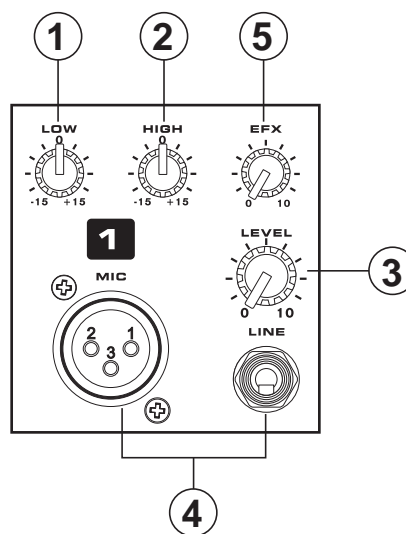
該当するチャンネルのレベルを調整します。

### 4. MIC/LINE入力

XLR及び1/4"フォン入力端子です。2つのコネクタを同時に使用することは出来ません。また、XLR端子にファンタム電源を必要とするコンデンサーマイクを直接入力することは出来ません。

### 5. EFXコントロール

内蔵デジタルディレイエフェクトに送られる信号レベルを調整します。



## マスターセクション

### 6. デジタルディレイ (EFX)

入力チャンネル信号にかかる内蔵デジタルディレイの調整が可能です。

TIME - デレイタイムを調整します。

REPEAT - デレイのリピート回数を調整出来ます。

### 7. POWERインジケータ

電源スイッチがオンになると、インジケータが点灯します。

### 8. TAPE INコントロール

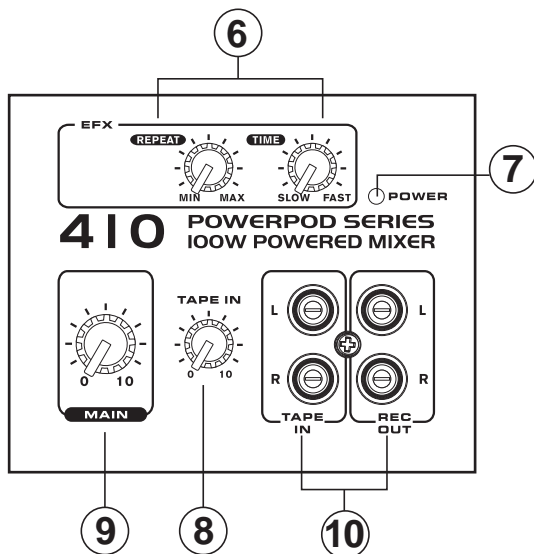
テープ入力からメインバスに送られる信号のレベルを調整します。

### 9. MAINコントロール

スピーカーから出力されるメインレベルを調整します。

### 10. TAPE IN, REC OUT

TAPE INには、MP3プレーヤーやCDなどの楽曲をメイン出力に追加出来ます。REC OUTは出力信号を録音機器や家庭用オーディオ機器に送ることが出来ます。定格の出力レベルおよびインピーダンスは、-10dBV/600Ωです。



## リアパネル

### 11. POWERスイッチ

本機器の電源をオン・オフします。

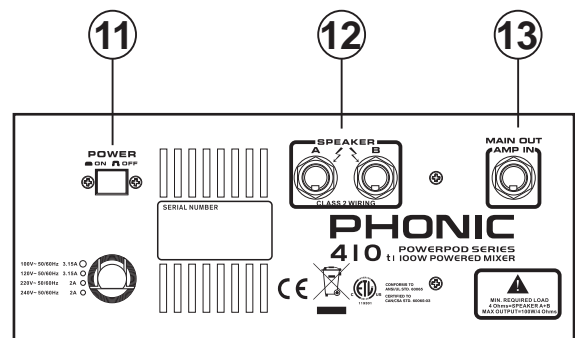
### 12. SPEAKERS出力ジャック

このソケットにスピーカーを接続します。スピーカーを同時に2つ使用する場合は、8~16Ωのスピーカーを使用して下さい。スピーカーを1つだけ使用する場合は、4~8Ωのスピーカーを使用して下さい。合計の最低負荷は4Ωです。合計負荷が4Ω未満の場合、本機器が損傷する可能性があります。

### 13. MAIN OUT/AMP IN

外部のプロセッサまたはパワーアンプへのメイン出力の信号送信が可能です。このインサートは通常はバイパスされません。ジャックが差し込まれると、信号経路は遮断されます。

メイン出力信号はプラグのチップ (TIP) 部分に、外部信号はリング (RING) 部分にリターンされます。下図に示すように、個別のセンドおよびリターンジャックに機器を接続するには、インサートケーブル(別売り)が必要です。

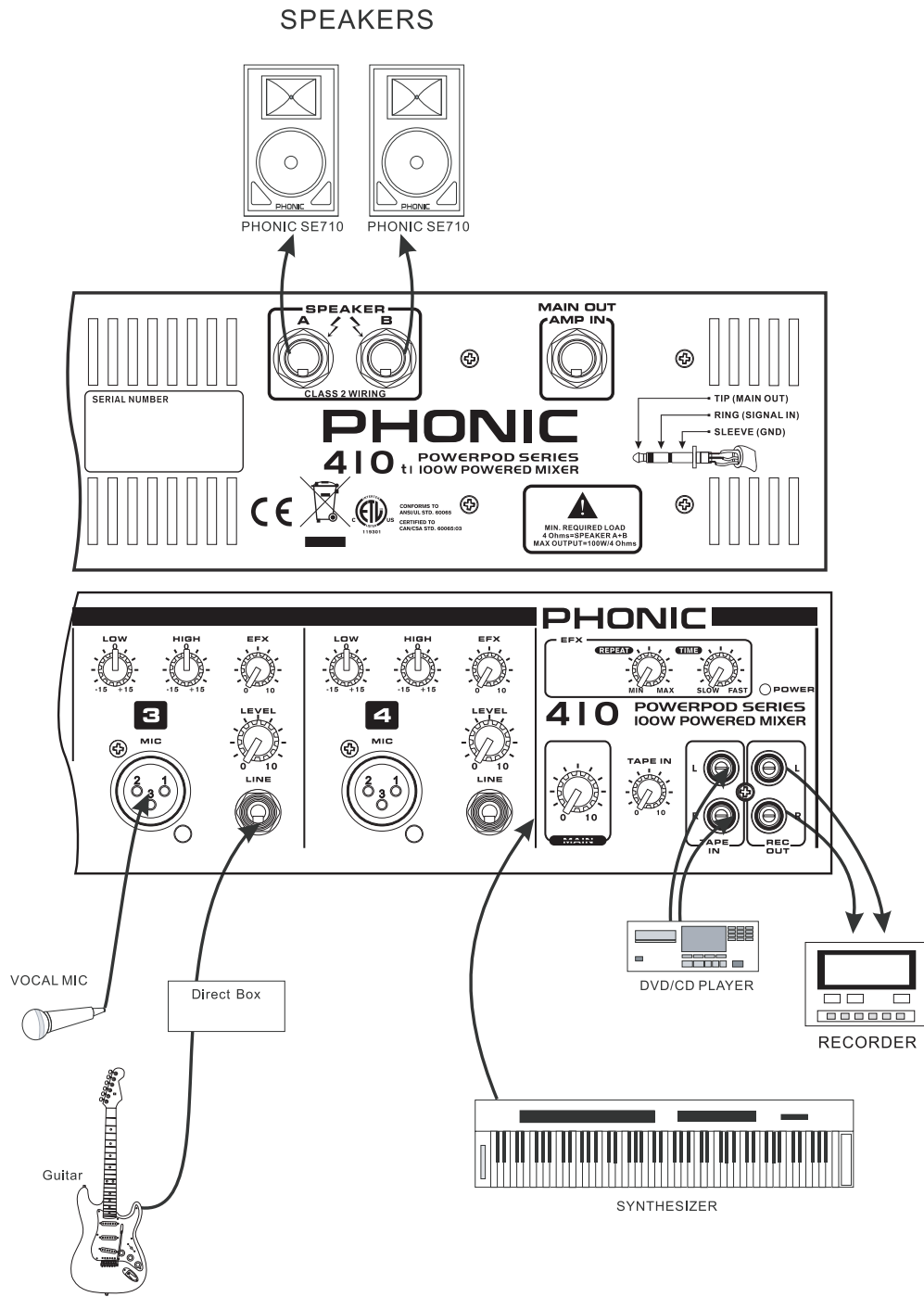


仕様

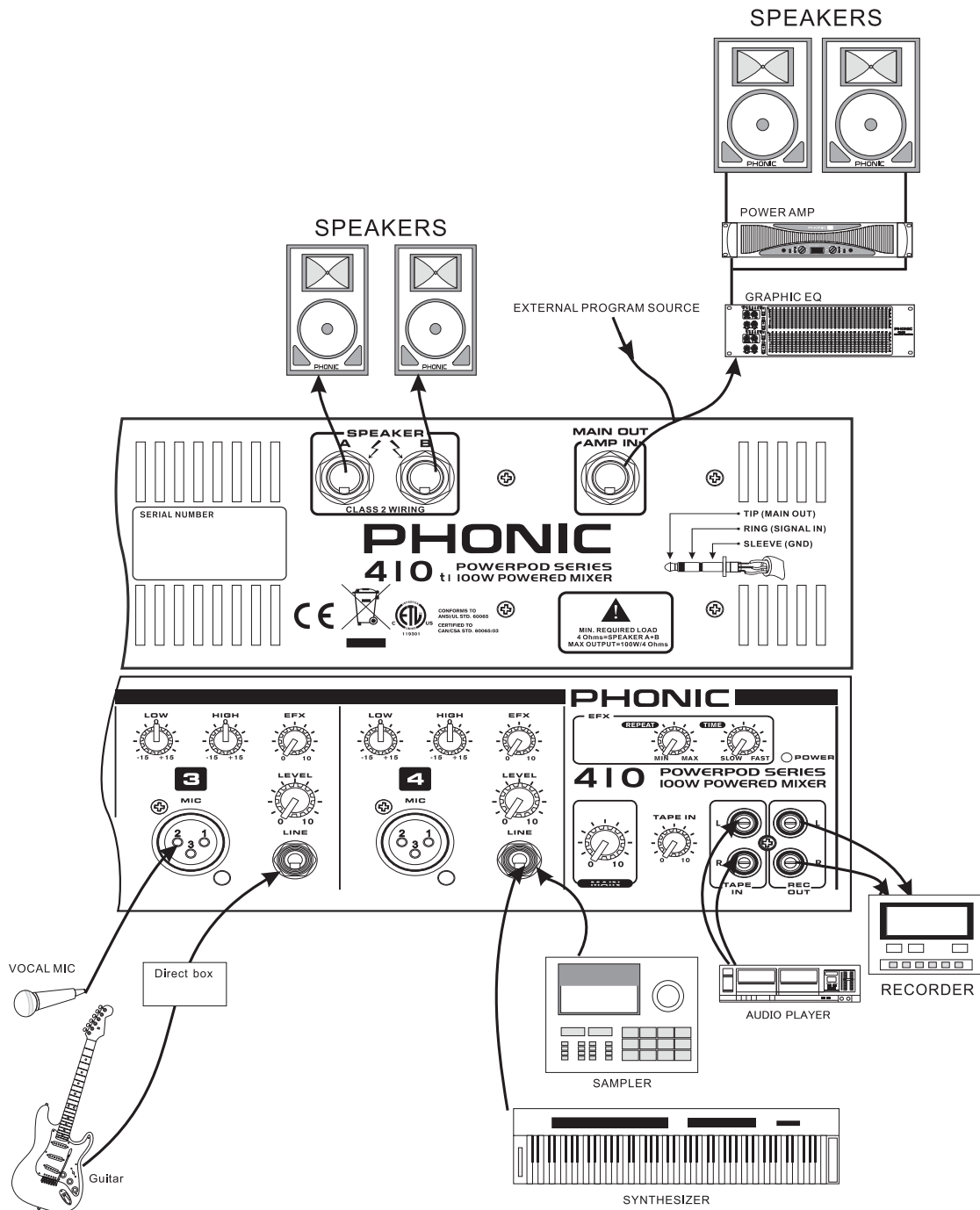
<b>パワーアンプ、最大出力 (ワット)</b>	
パワーアンプ出力チャンネル数	1
8Ω	65
4Ω	100
<b>入力</b>	
バランスモノラル マイク/ラインチャンネル	4
2T入力	1
<b>出力</b>	
メイン出力	アンバランスタイプ、TRS
チャンネルストリップ	4
ボリューム調整	ロータリースイッチ
<b>マスターセクション</b>	
ロータリーフェーダー	マスター
内蔵デジタルエフェクト	デジタルディレイ (2ms~150ms)
<b>ノイズ (20Hz~20KHz帯域幅、マスター出力へのライン入力)</b>	
マスター出力、全フェーダーダウン	-86dBu
パワーアンプ出力、全フェーダーダウン	-55dBu
THD	
パワーアンプ出力、20Hz~20KHz	@ 100W、4Ω <0.2%
<b>クロストーク (1KHz @ 0dBu、20Hz~20KHz帯域幅、マスター出力へのチャンネル入力)</b>	
チャンネルフェーダーダウン	<-63dB
<b>周波数応答 (出力へのマイク入力)</b>	
20Hz~20KHz、ラインレベルo/p @ +4dBu (600Ω)	+1/-3dB
20Hz~20KHz、パワーアンプo/p @ 1ワット (8Ω)	+1/-3dB
<b>感度@ミキサー出力+4dBu</b>	
マイク/ライン	-50dBu/-35dBu
テープ入力	-6dBu
チャンネルイコライザー	2バンド、±15 dB
LOW EQ	80Hz
MID EQ	12KHz
マイクプリアンプE.I.N. (150Ω終端、最大ゲイン)	<-122dBm
サイズ (W × H × D)	440 x 145 x 215 mm
重量	7.2 kg



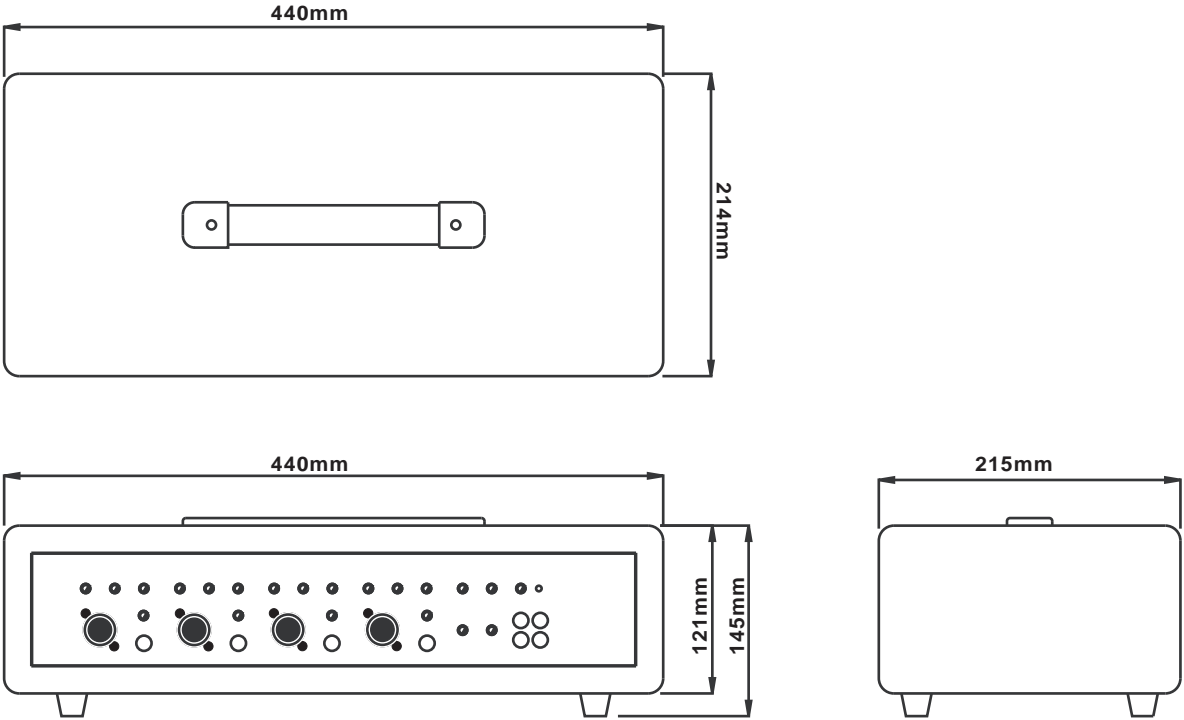
## 接続例



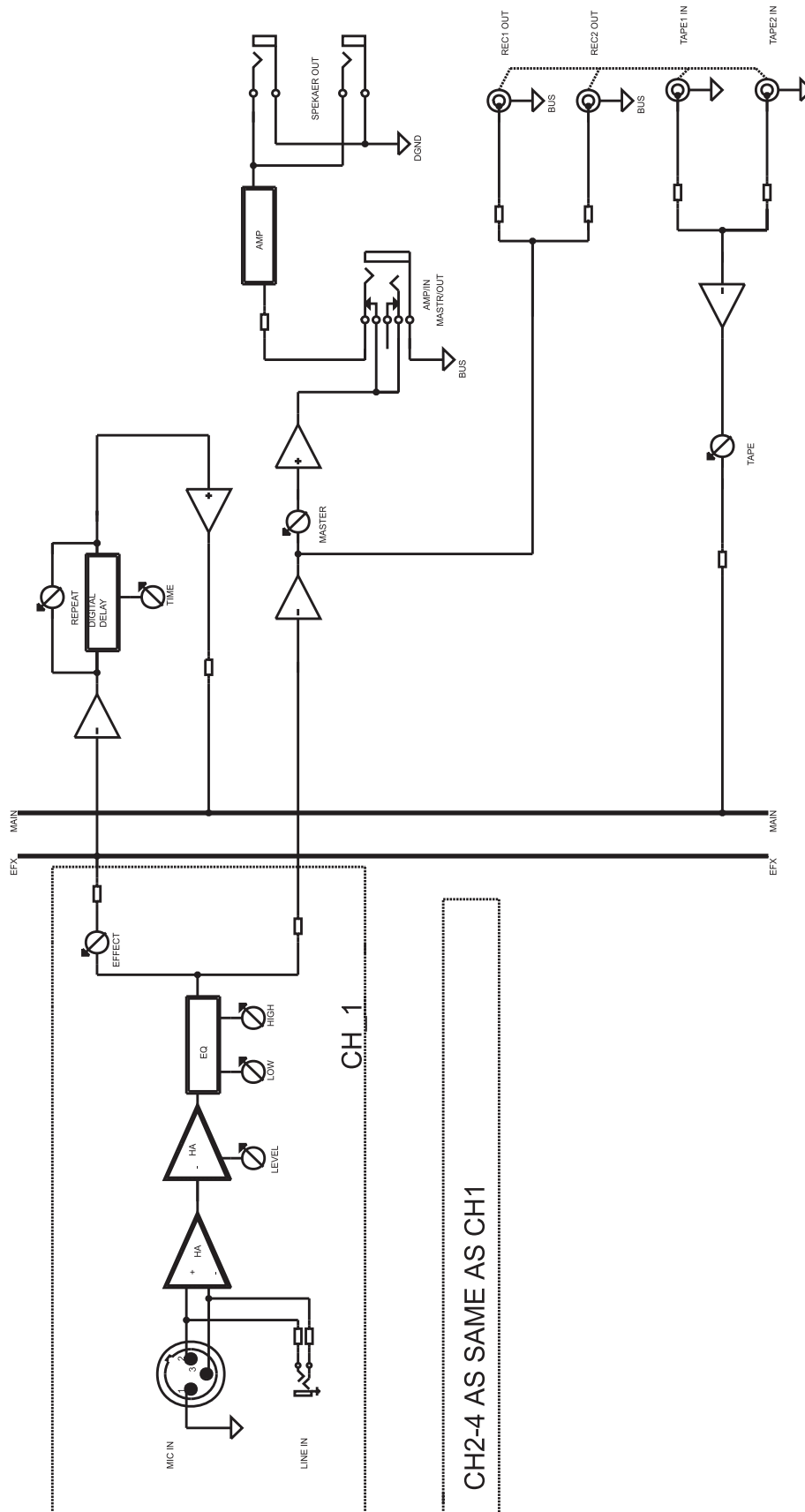




寸法



ダイアグラム



CH2-4 AS SAME AS CH1

**PHONIC**  
WWW.PHONIC.COM



**PHONIC** 正規輸入代理店  
株式会社 キョーリツコーポレーション  
[www.kcmusic.jp/](http://www.kcmusic.jp/)